

第1回ジオパーク下仁田協議会学術部会次第（報告）

日時 令和5年5月12日（金） 午後6時00分

場所 下仁田町自然史館

所 属	氏名	出・欠		所 属	氏名	出・欠
群馬県立自然史博物館	高桑 祐司	出		下仁田ジオパークの会	大河原順次郎	出
下仁田自然学校	中井 均	出		下仁田町教育長	里見 立夫	出
下仁田町歴史館	山田 誠司	欠		下仁田町自然史館	中村 由克	出
中小坂鉄山研究会	原田 喬	欠		下仁田町自然史館	赤岡 明	出
群馬大学名誉教授	吉川 和男	欠		下仁田町自然史館	関谷 友彦	出

1 開 会

2 報 告

3月11日（土）学術奨励金 成果報告会について

令和4年度学術奨励研究の成果報告と令和3年度の学術奨励研究の成果報告を併せた報告会を公民館で開催しました。参加は45人で、地元の詳しい人たちと研究者が交流することができました。これらの研究成果をジオパークの推進に活かしていきます

3 協議事項

1) 令和5年度学術奨励金事業の採択推薦について

本年度4件の応募があり、別紙1の1と3の研究について条件付きで町に採択推薦することに決めました。

2) 「夫婦岩」（西牧地区）のジオサイト登録に向けて

町では夫婦岩の観光利用を考えており、ジオパークとしての活用方法、サイトをどのように紹介するか、別紙カルテ(案)を基に、検討しました。

出された意見は次の通り

- 夫婦岩は基盤の岩石の上に、直径 2m を超える巨石がのっている。おそらく大水で流されて堆積し、周りの埋めていた土砂が無くなり、現在のように転石だけが残ったものと推定される。
- 石はとても丸くなっているのがかなり上流から流れてきていると推定される。石の大きさなども計測することで、どのぐらいの水流でこれが動くのか推定もできると思う
- 夫婦岩がいつごろできたか？新しいものではないか？下仁田町史にはその下流の淵については記載があるが、夫婦岩はない。
- 明治 43 年の水害で、上流では川の左岸と右岸で田んぼや住居が移っている。（石碑に残っている）夫婦岩ができたのがその時の水害と断定できるわけではないが、巨大な水の働きでできた奇岩として紹介するがいいのではないか。
- 下仁田は奇岩が多く、荒船山、じいとばあ、夫婦岩などすべて火山岩とその浸食によるものなので、テーマ性を持たせた奇岩のみどころにするのはどうか
- 以前より西牧地区のジオサイトがないという課題もあったので、これを機に夫婦岩について、現地調査や地元の人への聞き取り調査をしてはどうか。

⇒まずは現地調査を行い、調査結果を踏まえ、ジオサイトにできるかどうか検討することにしました。調査記録は下仁田町自然史館研究報告 9 号に掲載を目標とすることにしました。

3) ジオパークパンフレットリニューアルについて

3つのストーリーを入れたジオパーク総合パンフレットをリニューアルするにあたり、デザインなどを検討しました。

出された意見は次の通り

- 「荒船の湯」「芹の湯」について名称を入れた方がよい
- グランピング施設の住所表記 小字を入れるか入れないか統一する。
- 4つの「見る」「癒やす」「遊ぶ」「食べる」注釈があった方がいい。
下仁田かつ丼の下には「ジオブランド 下仁田かつ丼」と入れてはどうか？
- 『花』コーナー

右下 もみじの妙義は目立たないし、さくらの里と被るので姫街道 もみじラインにしてはどうか
あじさいの写真は、もっと花に特化したものにしてはどうか？

- 地図が下仁田ジオパーク全域入りきってない。特に白髪岩の導線になる御荷鉾スーパー林道なども入っていないので、全域が入るようにデザインを修正してはどうか？
- 荒船山は鱸岩だけでなく、遠望写真のほうが荒船らしいのでは？
- 下仁田駅はもう少し引きの写真のほうがよい。好きな人にはとても愛着のある駅なので、変更してみても？

⇒いただいた意見を基に、修正を加えて夏ぐらいまでの完成を目途に修正していきます。

4 その他

ジオサイトの法的整備について（委員から話題提供）

重要なものがあるとすぐ法的整備となりがちだが、文化財は基本的には個人所有で、個人の同意が必要になる。指定されると、土地の改変などが困難になったり、損壊時の修繕も必要となる（一部は補助が出るが個人負担）こうした個人の負担による法的整備が本当に持続可能かはよく検討した方がよいのではないか。という問題提起がありました。

また、県の石である鶏冠石が個人マーケットなどに出回っていたことに対して、昔警察も交えて対策をした事例なども紹介いただきました。

5 次回の部会開催について

夫婦岩のジオサイト化のこともあるので、7月末～8月上旬に開催することになりました。